

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 99

事務事業名	環境衛生・環境美化推進事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境保全課		
課長名	原 和彦	内線	178
担当者名	出口 正幸	内線	143

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050402	環境にやさしいまちづくり
施策		環境汚染対策の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	環境衛生費
事業コード	040100	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	町内会・団体		
意図 対象をどのような状態にしたいか	市内各地域の町内会・婦人会・老人会等が主体となった保健環境連合会を通じて、地域の環境保全・環境増進及び公衆衛生の向上に努める。 また、地域における環境美化の推進に関し、環境美化推進員を選任し、地域住民への美化意識の啓発、高揚のための指導を行う。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	各地区の保健環境連合会に対して、活動費を助成し、市内における環境衛生・環境美化の推進を図る。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営
根拠法令、要綱等	大村市環境美化条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 保健環境推進員	計画値					推進員実績値は町内会総数と同数である
		実績値	176	175	175	175	
	達成度	%					
② 環境美化推進員活動回数	計画値	回	228	228	228	228	
	実績値		304	304	288		
	達成度	%	133.3%	133.3%	126.3%		
成果指標	① 空き缶回収キャンペーンの参加人数	計画値	9,400	9,700	9,700	9,700	平成25年度は雨天のため中央会場中止
		実績値	2,721	5,449	5,553	4,967	
	達成度	%	28.9%	56.2%	57.2%	51.2%	
	② 市民大清掃の参加人数	計画値	14,200	14,700	14,700	14,700	
		実績値	7,651	3,115	7,242	8,729	
	達成度	%	53.9%	21.2%	49.3%	59.4%	

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,201	1,139	1,348	1,388	1,537	1,537	1,537	0
国庫支出金								
県支出金	10	0						
地方債								
その他		1,074	1,044	756	440	440	440	
一般財源	1,191	65	304	632	1,097	1,097	1,097	
② 人件費(千円)	3,343	3,485	3,153	2,234	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.35	0.35	0.35	0.20	保健環境連合会事務費等	保健環境連合会事務費等	保健環境連合会事務費等	
時間外勤務(時間)	96	235	157	205				
嘱託等人数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20				
フルコスト(①+②千円)	4,544	4,624	4,501	3,622				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	環境美化活動については、市保健環境連合会と連携し、空き缶回収キャンペーン・市民大清掃を実施した。また、地球温暖化防止のためのグリーンカーテン設置を促進するため、グリーンカーテン作り方講座を開催した。
事業が抱える問題・課題等	空き缶回収キャンペーン・市民大清掃は天候により左右されるので、実績値の変動が大きい。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	保健環境連合会に対する活動は、地域における自主的な環境保全活動を推進していく上で必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	各地区の環境保全活動を維持するためには、活動費の助成は必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	保健環境連合会と共催で実施している、6月の空き缶回収キャンペーン、8月の市民大清掃については、多数の参加者があり、地域の環境美化活動の定着が図られている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	廃棄物の減量化や、ごみの分別等の指導的役割を果たすことで、一般廃棄物の減量及び適正な処理に関する市の施策の推進が図られる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	環境保全活動費の助成を実施しているが、町内会においては、経費を一部負担し開催している状況では、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり	該当なし		

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	空き缶回収キャンペーン・市民大清掃は天候に左右されるが、町内会長会等各種団体を通して参加の呼びかけを積極的に行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。